

埼玉県山岳・スポーツライミング協会

埼玉岳連報 67号

発行者 石倉 昭一

発行所 協会事務所 天野 賢一方

〒333-0823 川口市石神 179-40

発行人 広報委員会 岩井田 正昭

埼玉岳連



巻頭言

新年のご挨拶

埼玉県山岳・スポーツライミング協会 会長 石倉 昭一
皆様、明けましておめでとうございます。

本年は事故のない、また皆様にとって健康で幸多い一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年は団体名称の変更を行いました。国民体育大会の競技種目名が、「山岳」から「スポーツクライミング」に改称されるのに伴っての変更です。団体やオリンピックの競技種目である「スポーツクライミング」を担当する団体として、対外的にも分かりやすくするためです。タイミングとしては良かったと思っております。もう一つの課題である「法人化」ですが、今年の4月から一般社団法人を目指しております。あと2ヶ月に迫ってまいりました。ラストスパートをかける時期になりました。宜しく願います。今年、オリンピックイヤーです。埼玉からもスポーツライミングの競技ボランティアとして25名がお手伝いをする予定です。是非成功裏に終わるように、そして日本人選手のメダル獲得を願っています。

昨年は秋の台風の影響で林道や登山道がかなり影響を受けました。11月に予定していたトラン大会100Kも、台風の影響で中止となりました。トラン大会については、今年も行方方向で進めますのでよろしく願います。

一方登山の方ですが、山岳遭難事故は、残念ですが全国的には年々右肩上がりで増え続けている状況です。

上部団体の日本山岳・スポーツライミング協会では、山岳遭難事故を減らす活動として「山岳遭難防止啓発ビデオのアニメ動画」を作りました。日山協のホームページで見れますので一度見てください。私たちも登山者の代表という立場にあると思いますので、山岳遭難事故を減らす活動や、山岳遭難防止のための安全登山の普及活動をしっかりとして進めて行きましょう。

本年も色々ありますが、皆様のご支援ご協力を、引き続き宜しくお願い申し上げます。

◇◇◇◇◇◇◇◇ 目 次 ◇◇◇◇◇◇◇◇

- 1 p : 巻頭言 「新年のご挨拶」
- 2 p : 令和2年新春懇談会
- 4 p : 各委員会 報告・計画
 - I 選手強化委員会 活動報告
 - II 遭難対策委員会 冬山遭難防止講習会
 - III 自然保護委員会 自然観察会
 - IV 海外登山委員会 「カン・ヤツェ登山報告会」
- 6 p : 追悼「武井 正男氏」に寄せて
- 7 p : お知らせ・編集後書
- 8 p : 広告

2020年新春懇談会

2020/1/19 大宮・レストランスクウェア



新春の挨拶 石倉会長

恒例の「2020年新春懇談会」を開催。司会加藤副会長参加者は、御招待者12名の他、参与会、協会員、理事等計65名の大勢の方々が参加頂き盛大に行われました。

相澤副会長の開会挨拶の後、石倉会長の「新年の挨拶」、ご来賓から加須市・生涯学習部長 江原様、県スポーツ協会・専務理事 河本様からそれぞれご祝辞を戴きました。

天野理事長からご招待者の紹介の後、国体選手監督の紹介「坂井 絢音、百合草 碧皇、鶴 隼斗、野部 七海、曾我 綾乃、各国体参加選手」に対し花束の贈呈が行われました。

深谷山岳会前会長・埼玉県山岳・スポーツクライミング協会参与「武井正男氏」のご逝去の報に全員で黙とうをささげ故人のご冥福を祈りました、また島田 富男深谷山岳会長から弔問、会葬に対し深く謝辞を述べられました。

※関連記事6-7p「武井 正男氏」追悼を掲載。

田中 文男名誉会長の発声により本年の発展と健康を祈願し「乾杯」となりました。

懇談後、村岡副会長の閉会挨拶でほぼ予定通りに懇談会は終了しました。 報告 岩井田

「2020年新春懇談会」参加者ご芳名 敬称略

- 《茨城国体選手・監督》
- 成年女子選手 坂井 絢音 MAS
- 少年男子選手 百合草 碧皇
- 鶴 隼斗
- 少年女子選手 野部 七海
- 曾我 綾乃
- 成年女子監督 内海 信 埼玉高体連
- 少年男子監督 横内 鉄郎 川越山岳会

- 《ご来賓》
- 加須市長 代理 生涯学習部長 江原 千裕
- (公財)埼玉県スポーツ協会専務理事 河本 弘
- (株)ベルコンピュータシステム代表 高尾 周太郎
- 無名山塾・主宰 岩崎 元郎
- 石井スポーツ川越店プロカイト 米山 良平

《SMSCA・参与》

- 名誉会長 田中 文男 浦和山岳会
- 顧問 森下 健七郎 MAS
- 参与 大野 好司 高体連登山専門部長
- 参与 平沼 伸一 小川山の会
- 参与 亀田 泰二 川口市登山同好会
- 参与 三ツ木 達男 元蔵ハイキングクラブ
- 参与 斎藤 勝男 元蔵ハイキングクラブ
- 参与 恵 秀彦 グループ・ド・アミ
- 参与 古峰 孝 加須市体育協会会長
- 参与 風間 進 元グループ・ド・アミ

《SMSCA・協会員》

- 評議員 千葉 弓子 川口市登山同好会
- 八木 滋 川口市登山同好会
- 氏原 佐和子 川口市登山同好会
- 森 智佳子 川口市登山同好会
- 理 事 山口 新二 UD・A・C
- 井上 一義 UD・A・C
- 朝香 聖成 大宮アルパインクラブ
- 香川 優子 大宮アルパインクラブ
- 評議員 島田 富男 深谷山岳会
- 相馬 英夫 深谷山岳会
- 設楽 和男 深谷山岳会
- 評議員 八ツ田 政男 壁稜山岳会
- 評議員 長谷川 茂 熊谷山岳会
- 理 事 計良 寿彦 東部登高会
- 理 事 小茂田 利孝 高体連登山専門部
- 鈴木 宏招 久喜工業高等学校
- 評議員 野本 政之 加須スポーツクライミングクラブ
- 評議員 井上 昇 MACC

- 理事 鈴木 百合子 無名山塾
 矢田 実 無名山塾
 鈴木 健太 防衛医科大山岳同好会3年
 保坂 まなみ 防衛医科大山岳同好会1年
 藤井 優人 防衛医科大山岳同好会1年
 理事 秋元 淑子 彩・岳悠会
 評議員 大野 文雄 山岳同人 埼玉

《SAMSC・役員》

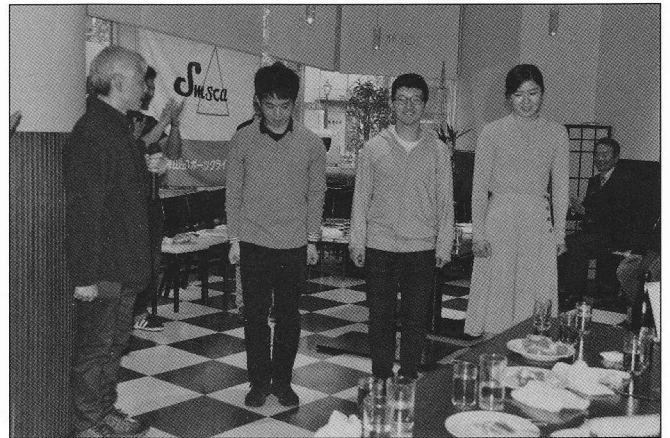
- 会長 石倉 昭一 大宮アルパインクラブ
 副会長 相澤 重夫 川口市登山同好会
 副会長兼事務局長 加藤 富之 深谷山岳会
 監事 秋庭 栄 G・D・A
 監事 岩武 成秋 UD・A・C
 理事長 天野 賢一 遠峰山岳会
 副理事長兼遭対委員長 瀬藤 武 G・D・A
 副理事長 土屋 正昭 加須CC・ビナ
 副理事長兼競技委員長 横内 鉄郎 川越山岳会
 指導委員長 野村 善弥 あゆむ山の会
 自然保護委員長 増田 修 川口市登山同好会
 選手強化委員長 内海 信 高体連登山専門部
 海外登山委員長 山際 登志夫 彩・岳悠会
 ジュニア委員長 高岡 正彦 高体連登山専門部
 広報委員長 岩井田 正昭 山岳同人 埼玉
 個人会員委員長 笠原 数浩 彩・岳悠会
 医科学委員長 伊藤 正孝 防衛医科大山岳同好会
 事務局 塩谷 壽子 大宮山岳会

《御芳志》多大なるご芳志頂き御礼申し上げます。

河本 弘 埼玉県スポーツ協会専務理事、高尾 周太郎 バルコンビュートシステム代表、岩崎 元郎 無名山塾・主宰、米山 良平 石井スポーツ川越店登山がっ、雲取山荘 新井 信太郎、田中 文男 名誉会長、亀田 泰二 参与、大野 文雄 評議員、塩谷 壽子 事務局、



開式の挨拶は相澤副会長



防衛医科大山岳同好会 伊藤会長から会員紹介



茨城国体で活躍された選手に花束贈呈



故武井 正男氏に黙祷の後、葬儀参列のお礼を述べる
島田 富男 深谷山岳会会長(左手前から6人目)ご挨拶



Kobaton

各委員会報告・計画

I 選手強化委員会

【第74回 茨城国体 解団式・表彰式】

11/15 解団式・表彰式 (埼玉会館小ホール)

参加選手：百合草 碧皇、鶴 隼人、曾我 綾乃、野部 七海

岳連関係：石倉 昭一会長、総監督 天野 賢一、成女監督 内海 信、少男監督 横内 鉄郎、支援 小茂田 利孝

【第32回コバトンクライミングカップ2019】

11/24 加須市民体育館

ミドル：小林 琢磨1位、上原 優斗2位、大嶋 唯花3位

ビギナー：中島 颯杜1位、松浦 玲音2位、松原 凌3位

ジュニア：池原 悠太1位、今井 晴登2位、阿部 杜吾3位

キッズ：高橋 宗大1位、梶原 成矢2位、栗原 芽吹3位

第6回関東小中学生クライミング選手権大会競技

12/15 加須市民体育館

埼玉県からは、リード競技12名参加(ジュニアドリームアスリートから選出)加須市民体育館こいのぼりクライミングウォールで行われました。

参加選手81名、各種別予選2課題6分フラッシング 決勝オンサイト6分プロクライマー大場美和選手をゲストに迎え、今年8月世界選手権八王子大会で使用されたホールドで、盛大に行われました。

当大会参加選手は以下の通り

中学生男子：犬竹 那月、猪鼻 碧人、山田 航大

女子：武石 初音、横田 呼春、大嶋 唯花、松浦 怜音

小学生男子：遠藤 功士、長森 靖、石田 奏、

松浦 陽色

女子：金子 千尋

第10回全国高校生選抜クライミング選手権大会

12/21-22 加須市民体育館

男子総合成績 鶴 隼人 6位、牧田 空 28位、小林 拓磨 30位、大場 拓真 76位、

女子総合成績 石川 果隠 41位、村田 せい 67位、橋本 歩美 91位

学校対抗順位 男子：伊奈学園総合高校 10位

女子：坂戸高校 15位

※百合草 碧皇選手4位 (東京都所属)

II 遭難対策委員

投稿 冬山遭難防止講習会 報告

12/14-15 上尾 埼玉県スポーツ総合センター

埼玉県スポーツ総合センターでSMSCA2019年度冬山遭難防止研修・講習会の日。総勢約60人と沢山の参加がありました。

14日(土) は「山岳における救急医療」ファーストエイドは年に一度は研修を受けるべきもの。

私は20m滑り落ち、右足を開放骨折した「要救」の役を演じました。デモンストレーションでは講師によりスムーズに評価・処置が行われましたが、本チャンでどれだけのことができるか？それはスキルを高めるしかないのかと。

15日(日) 午前中は埼玉県警察山岳救助隊員二人による「講演」普段は入間基地に常駐し有事にヘリで出勤するそう。質問の中で捜索に、「ここヘリ」や「ドローン」の利用については途上のようなものでした。

午後は搬送。ツェルト、ザック、ポールなどを使った簡易担架の作り方、ザック、雨具での搬出などの実技講習。内容濃くあつと言う間の週末の二日間でした。 G・D・A 秋庭 栄



14日「山岳における救急医療」をテーマに解説する 恵 秀彦講師



15日午後からは「搬送技術」の習得を行った。

ポールとザックを併用し短時間での担架作成を全員で体験。緊急の場合は手持の物を如何に応用し、他の安全な場所に移動させる事が大切かを学ぶ。

写真はポール4本+中型ザック×3を使用

※写真と本文は秋庭委員 広報

III 自然保護委員会

—山の日記念 甲武信小屋で楽しむ—

秩父山岳連盟+甲武信小屋のコラボ 山の日イベント

UD・A・C 山口 新二

8月10日(日)から11日の二日間にわたり、甲武信ヶ岳を会場にSMSCA自然保護委員自然観察会が開催されました。

テーマは甲武信ヶ岳を源頭とする三河川・信濃川・富士川・荒川の分水嶺及び源頭の高山植物の観察。

「ユネスコ・エコパーク」に登録された『甲武信ヶ岳』長野・山梨・埼玉の三山域に自然環境と社会(人)との共生をあらためて秩父山域、とりわけ甲武信ヶ岳周辺の巡視を目的とした。SMSCAからは「桜草山の会」、「熊谷山岳会」、「UD・A・C」、「川口市登山同好会」所属の会員16名が参加した。

2019/8/10 初日は毛木平より信濃川(千曲川)の源流帯を視察して甲武信ヶ岳山頂を雷鳴が響く中通過して甲武信小屋に着。小屋から40分程度で荒川源流と富士川源流を巡視し、三分水嶺観察を実施。山小屋では夕食後小屋番トークとギター&サンポーニヤの演奏会のイベントが開催され、甲武信小屋の夜を盛りあげた。

2019/8/11 二日目小屋前は樹林の間から朝日が拝めさわやかな奥秩父の一日が始まる、朝食後甲武信ヶ岳山頂で、秩父岳連と甲武信小屋共催の山の日イベントがあり山頂に記念寄せ書き旗が揚げられギター&サンポーニヤの演奏が響き渡った。青空のかなたに御座山(おぐらやま)・八ヶ岳連峰・南アルプス(鋸岳・甲斐駒ヶ岳・白根三山・早川尾根・鳳凰三山等)さらには富士山も雲の上に、高らかにその雄姿を見渡すことができた。甲武信ヶ岳山頂イベント終了後、各会毎に自由散会で、信濃川(千曲川)源流帯経由と十文字峠経由へ別れ、毛木平へそれぞれ下山した。



甲武信ヶ岳山頂でイベントに参加された大勢の方々と

IV 海外登山委員会

「カン・ヤツエ 6,247m 海外登山報告会」

12/7 大宮 宇宙劇場5階会議室



登山隊自己紹介 左から山際登山隊長、風間行動隊長、掛川行動副隊長、池ヶ谷、小茂田、清水、山田、杉野、大河原、塩谷 各隊員

司会・天野海外委員 (SMSCA理事長)
代表挨拶・加藤海外委員 (SMSCA副会長)
来賓挨拶・SMSCA石倉会長

加藤副会長の挨拶の後、石倉会長から来賓挨拶があり、海外登山報告会が開会された。司会は天野委員。

風間行動隊長の画像を使った約1時間半の山行報告を行った、前半は行動概要の説明を、後半は出発から帰着までの行動記録画像を公開した。

小休後質疑応答、その後山際登山隊長(海外登山委員長)による隊員紹介を行い、各隊員から感想をそれぞれ述べてもらった。

「アタック当日は稀にみる悪天候の為、登頂断念、唯一、杉野・大河原両隊員が5600mまで登山」



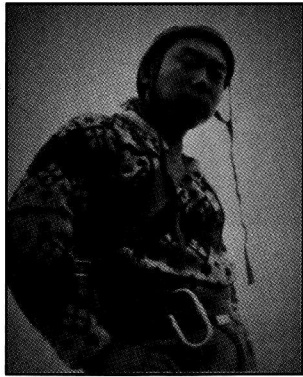
登頂ならず登山隊全員で
カン・ヤツエ 6,247m を背景に

訃報 「武井 正男氏を偲ぶ」

当協会元副会長・参与、深谷山岳会元会長
故武井 正男氏は、令和元年11月29日11時
ご逝去されました。(行年76歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げ、生前のご功績、
ご尽力に感謝し深く哀悼の意を捧げます。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会



若かりし頃

略 歴

- 1943(昭和18)年1月14日深谷市人見に生まれる
- 1959(昭和34)年 初めての登山、高校2年の夏、奥秩父縦走(雁坂峠～雲取山～三峰山・3泊4日)
- 1964(昭和39)年 21歳で深谷清友山岳会を結成
- 1965(昭和40)年 埼玉県山岳連盟に加盟
- 1967(昭和42)年 深谷山岳会に改称・第2代会長／第22回国民体育大会(埼玉国体)山岳部門、選手として参加／武甲山雨乞岩正面下部ルート初登
- 1968(昭和43)年 子持山大黒岩西壁正面ルート初登
- 1966～谷川、八、穂高等に精力的に多数の足跡を残す
- 1994(平成6)年 深谷山岳会創立30周年記念カムチャッカ遠征(クリチェフスカヤ山4,813m・登頂)
- 2014(平成26)年 深谷山岳会創立50周年ゼロ富士登山に参加・記念祝賀会開催・記念誌発行
- 1987年 昭和61年度埼玉県体育功労賞を受賞
- 1982～1995年 埼玉県山岳連盟 競技部長
- 2000～2006年 埼玉県山岳連盟 副会長
- 2008～2018年 埼玉県山岳連盟 参与
- 2019(令和元)年11月29日逝去 行年76歳 合掌

追 悼 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 名誉会長 田中 文男

「武井正男さん、さびしくなりました」

埼玉県山岳連盟の理事会が東松山で開催されていたころですから、もう、ずっと昔のことになります。理事会の席上、過激で、時には鋭い発言をする生意気そうな若者がいました。まさに青年将校のようでした。

「あれ、だれ？」と尋ねましたら深谷山岳会の武井さんだと教えてくれました。

それから武井さんを注意深く観察していると、なかなか楽しい好青年だと分かりました。どちらからともなく話をするようになり、二月に行われる県岳連の富士山での検定会、ここにはよくご一緒するようになりました。蒼い氷の世界で「そんなことをしてたら、死んじゃうべよ！」と講習生をどなりながら、それでも暖かく指導している姿を今でもはっきりと思い出すことができます。

私の近所に山の好きな年輩の方がおられて、何となく私に弟子入りしてくれ、谷川岳などへよくご一緒致しました。この方は戦前の台北帝大の出身で農業の専門家でしたが、ある日、「武井さんって知っていますか？」と尋ねられました。「よく知っています」と応えると「彼は私の職場で一緒でした。実に熱心で勉強家で素敵な若者です」と嬉しそうにおっしゃる。私の全然知らない世界の武井さんの話をしてくれ本当に嬉しくなりました。

その話をすると、武井さんもびっくり。世の中、狭いなあとと言って、後日、深谷のネギを送ってくれました、私が県岳連の会長時代は副会長として支えていただきましたし、飼育しているゴールデン・レトリバーの仔犬を分けて貰ったこともありました。このごろは会う機会も少なくなり、そのうちに柿でもねだりに行こうと思っていたら世界の報せ。淋しくなりました。

エンマさんの前で、青年将校ぶりを発揮し、仲良くしてください。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

追 悼 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 副会長 加藤 富之

わが深谷山岳会の名誉顧問であります武井 正男元会長は、昨年11月29日、行年76歳で逝去されました。

皆様には生前のご厚誼に感謝いたします。(元会長の山歴等につきましては略歴にしましたので割愛します。)

武井さんの岩登りは、安定且つ絶妙なバランスで有りそうにないホールドに手や足を置いて登り感動ものでした。また、タツパが足りないのでアブミの最上段に立って登ったと話す姿は生き生きとしていました。最後の冬合宿、新穂高から槍ヶ岳は、新しく買った登山靴が足に合わず怒って投げ捨てたという逸話有り。一寸気性の激しいところのあった武井さんですが、本人曰わく「山が自分を更生させた」と…。そんな武井さんは、会員の相談に親身になって耳を傾け面倒をみてくれました。また安全登山には口を酸っぱく「ジッ

ヘル、ジッヘル!」と、繰り返し注意してくれました。

最後になった山行は2014年71歳でのゼロ富士登山。海拔0m田子ノ浦から歩き始め、村山古道を歩き富士山を目指しました。都合により途中の村山浅間神社まででしたが会員と一緒に登った最後の山行になりました。その年に創立50周年記念祝賀会を開き、県内外の山岳会から沢山の参加者を迎え盛大に開催できたことは、武井さんの念願が叶い皆で大いに喜びました。

我々はこれからも武井さんのご遺志を継ぐべく、安全且つ楽しく山に登り続けたいと思います。 合掌

追悼 埼玉県山岳・スポーツライミング協会 参与 熊谷 潔

山岳界の活動が多岐に渉る昨今、熱烈な武井信奉者(当時の埼玉岳連で活躍していた方々)が、毎年「武井 正男氏を励ます会」を開き、私も度々末席を汚していました。氏の“山”への情熱は、鉄の時代に入り、ヒマラヤ、アルプスに大挙押しかけの中で、北方の山々のバリエーション(北海道、ロシア、モンゴル等)に会独自の山行を築いたことです。加えて、県東北部の岳人を育み、且つ市民ハイクの発展に至るまで活動の場を拓げられたことに心から感動を覚え、その根源は“人柄”といえるでしょう。裏では努力を重ね表面では「仲間がやってんだよ、」とよく言っていました。

今の深谷山岳会の興隆は、氏によって有能なスタッフを築き上げたことです。真似の出来ることではありません。私は同年齢とはいえ、舌を巻いていたばかりでしたが、まだまだ活躍して欲しかったです。

ご冥福を祈ります。

追悼 埼玉県山岳・スポーツライミング協会 理事 山口 新二

故 武井 正男氏を私が良く知る様になったのは(1977)S52年10月、第32回青森国体山岳競技に日産ディーゼル山岳部から3名(選手/岩武・有馬・山口)で、(監督/亀田氏)のメンバーで出場した時に武井氏が当時の国体委員として現地でお会いした時からです、大変面倒見の良いというのが印象的でした。

国体の成績はさて置き、青森の帰りは武井氏の車に選手団5名全員乗車して帰ることになり、帰路の途中秋田の大曲だったと記憶しますが、武井氏の妹さんの嫁ぎ先に1泊し、秋田銘酒「爛漫」を振舞っていただき、山岳競技の成績は良くなかったが活躍をねぎらっていただきました。

それからは埼玉岳連の講習会や県体等のイベントで

ご一緒する度に大変お世話になりました。

武井氏は深谷山岳会の所属で県北エリアの山岳団体等の育成に大いに貢献した方で、自らの登山活動も、初登攀や多くの山域にその足跡を残しています。

また県岳連の役職も重責を担い貢献度は高く、まだまだ年齢的にも活躍の余生を残し、旅立たれたことは大変残念に思います。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第10回日本山岳遺産サミット 特別講演

「登山道の荒廃に登山者は何が出来るか」
令和2年2月15日 13:00～ 一橋 講堂中会議室
主 催：日本山岳遺産基金・山と溪谷社
講 師：北海道大学大学院・愛甲 哲也氏
費 用：500円(基金寄付) 事前申込 2月12日
問合せ先： ※詳細はHPから申込可

令和元年度積雪期緊急避難講習会・研修会計画

趣 旨 積雪期登山の安全登山と技術向上を目的
主 催 埼玉県山岳・スポーツライミング協会
主 管 SMSCA 指導委員会・遭難対策委員会
期 日 令和2年2/29(土)～3/1(日)
会 場 谷川岳登山センター付近。
指導講師 日本スポーツ協会公認指導員
参加費用 4,000円(講習費)
申込締切 2月21日
※詳細は直接野村指導委員長へ ynom36@ybb.ne.jp

尾瀬の光と影「現状と過去、未来」記念講演会

令和3月8日 蕨市市民会館 13:00 開場～14:30
主 催：彩・岳悠会
後 援：SMSCA
講 師：NPO法人 尾瀬自然保護ネットワーク
副理事長 大山 昌克氏
費 用：入場無料 連絡先 笠原090-1600-7483

公開講演会「シカが生物多様性を低下させる!?!」

令和3月28日(土)北浦和カルタスホール 13:50～
主 催：SMSCA・自然保護委員会
講 師：埼玉県環境科学国際センター 角田 裕志氏
費 用：入場無料

編集後書

「埼玉岳連報」は1月発行の67号でひとまず終了。2002年12号に再刊以来18年間の長きに亘りご協力頂き深く感謝します。 2020/1 広報 岩井田

ALP K2®



自然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。

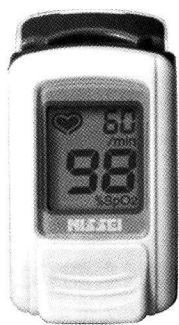
医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO-600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社
113-0033 東京都文京区本郷3-16-3
TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177
Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております